

# 全国各地から善意の支援物資

## 登米市へ温かな真心続々と

甚大な被害と物資不足により市民が日常生活に大きな不安を抱えている中、登米市と姉妹都市交流を結んでいる富山県入善町をはじめ長野県下諏訪町、静岡県湖西市などの自治体や市内外企業および個人などから登米市の復興を願う善意の支援物資が届けられました。

ラーメン、レトルト食品、下着、毛布、紙おむつなどで、避難所生活を余儀なくされている被災者のため各避難所へ配布されました。来市された皆さんは、「少しでも早く被災地に届けた」との思いで昼夜を問わず車を走らせ、支援物資を届けていただきました。

米市には大変貴重な物となりました。温かい励ましの言葉と支援物資を受け取った市長は、「市内でも多くの市民が被災し、支援が必要な状況となっております。頂いた多くの物資は、市民の皆さんの一日も早い復興のために有効に活用させていただきます。皆さんの善意に感謝します」と御礼の言葉を述べ、堅い握手を交わしました。



復興を誓い堅い握手を交わしました



「1日も早い復興を」と激励のメッセージ



全国から届けられた善意の支援物資

# 市民の意見を市政運営に

## 平成22年度 登米市市政モニター会議

市民の声を市政に取り入れ、市民との協働によるまちづくりを目指し設置された市政モニター。今年度の報告を行う会議が3月28日、迫公民館で開催され委員8人が出席しました。

換が行われ、「提出した意見に対し、丁寧な回答がくるので大変参考になった」、「震災のライフラインの復旧対策について改善を」などといった多くの意見や要望が出されました。



「感想や今後の課題などの意見を」と述べる市長



市政に対する多くの意見が出されました

# 災害時ゆえに 早期の活用を

## 仙台トヨペット(株)が 普通乗用車1台を市に寄贈

仙台トヨペット(株) (奥田雅俊代表取締役社長) から市に対し「トヨタプリウスEX」1台が寄贈され3月30日、市役所迫庁舎前において納車されました。

これは、同社の基金「パピ



市長から奥田代表取締役社長(右)に感謝状を贈呈



寄贈された「プリウスEX」

ヨングリーン基金」をもとに地域の環境保全の向上を目的として行われているもので、当初22日に受納式が予定されていましたが地震により延期されていました。しかし、同社より「このような事態だからこそ、いち早く活用してほしい」と申し出があり30日に納車が行われたものです。

受納式には、奥田代表取締役社長や市長をはじめ関係者などが出席し、関係者が見守る中、車両が贈呈されました。

その後、仙台トヨペット(株)に感謝状が贈られ、市長は「このような災害時に燃費の良い車の寄贈は大変助かります。被災者の支援に活用させていただきます」と謝辞を述べました。

# 市民が描いた伝説の「大嶽丸」

## 市民劇場「夢フェスタ水の里」

平成10年度から毎回、9つの旧町に伝わる歴史など、登米ならではの芸術文化を手づくりの舞台で演じる市民劇場「夢フェスタ水の里」(財団法人登米文化振興財団主催)。

今年で13回目となった「天翔ける勇者たち大嶽丸と田村麻呂」が3月5、6の両日、登米祝祭劇場で開催されました。

公演は、ビデオ紙芝居「大武丸物語」(旧南方町自作教材作成グループ編)と登米祝祭



調査のため「山王の桜」を訪れたサークルの4人

調査のため「山王の桜」を訪れたサークルの4人が、大嶽丸の妻、鈴鹿の魂に導かれ、約1200年前の時代にたどり着く。北の大地と人々を守りたい大嶽丸と、エミシ討



お互いの思いとはうらはらに、雌雄を決しなければならない2人

劇場の山田悦且館長の著書である同名の小説を元に、大友久仁恵さん(追)が脚本を書き、演出しました。

運営は夢フェスタ実行委員会を中心になって進め、各種団体や「大嶽丸を知る会」なども全面協力し、脚本から本番まですべてを約1200人のボランティアで創り上げました。

また、市内外から応募した約30人の出演者も昨年11月から練習に汗を流してきました。

伐を命じられた田村麻呂。互いに和平を望みながらも雌雄を決しなければならぬ複雑な思いを市民が演じました。

両日の公演とも、大勢の人が訪れ、素晴らしい演技に公演終了後の会場からは、割れんばかりの歓声や拍手がいつまでも鳴り響いていました。